

Q5-1

難易度A

時間の目安1分30秒

出題R4-1月-17

A5-1

1月日Time分秒

2月日Time分秒

3月日Time分秒

4月日Time分秒

5月日Time分秒

青山さんの202X年分の収入は、下記＜資料＞のとおりである。＜資料＞の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる所得の種類を組み合わせて、適切なものはどれか。

<資料>

所得区分	収入等の内容	備考
（ア）	収益の分配10万円	上場投資信託（ETF）の普通分配金に係るものである。
（イ）	暗号資産取引により生じた所得10万円	売却価額から取得価額を控除した利益。 取引自体が事業と認められるものではなく、取引が事業所得等の各種所得の基因となる行為に付随して生じていない。
（ウ）	受取保険金200万円	保険期間15年の一時払養老保険の満期保険金（保険契約者・保険料負担者は青山さん）。一時金で受け取っている。

1. （ア）配当所得 （イ）譲渡所得 （ウ）雑所得
2. （ア）利子所得 （イ）雑所得 （ウ）雑所得
3. （ア）配当所得 （イ）雑所得 （ウ）一時所得
4. （ア）利子所得 （イ）譲渡所得 （ウ）一時所得

- （ア）ETFの普通分配金は、**配当所得**となります。
- （イ）暗号資産取引により生じた所得は、**雑所得**となります。
- （ウ）保険期間が5年を超える一時払養老保険の満期保険金は、**一時所得**となります。

Q5-2

難易度B

時間の目安1分30秒

出題R3-5月-16

A5-2

1月日Time分秒

2月日Time分秒

3月日Time分秒

4月日Time分秒

5月日Time分秒

個人事業主の千田さんは、2025年4月に機械装置（新品）を購入し、事業の用に供している。千田さんのこの機械装置の2025年分の所得税における事業所得の金額の計算上、必要経費に算入すべき減価償却費の金額として、正しいものはどれか。なお、機械装置の取得価額は900万円、2025年中の事業供用月数は9ヵ月、耐用年数は15年とする。また、千田さんは個人事業を開業して以来、機械装置についての減価償却方法を選択したことはなく、法定償却方法によるものとする。

<耐用年数表（抜粋）>

法定耐用年数	定額法の償却率	定率法の償却率
15年	0.067	0.133

1. 452,250円
2. 603,000円
3. 897,750円
4. 1,197,000円

「法定償却方法によるもの」とありますので、定額法を用いて計算します。
2025年中の事業供用月数は9ヵ月なので、月割りで計算します。
以上より、 $900\text{万円} \times 0.067 \times \frac{9}{12} = \text{452,250円}$ となります。

テキスト作成の
コンセプト

テキスト分析・
改訂システム

テキストの特長

サンプルテキスト

問題集の特長

サンプル問題集

演習ノート